





## 大会長あいさつ

日本理学療法士協会がこれまで秋に開催していた集合研修事業である全国学術研修大会が、53回(平成30年度)からは、開催時期を春に移行し「理学療法士の臨床技能を高める」学術研修大会として生まれ変わります。

これまでの新人や若手を重視した内容から、多世代・職域が参加できる研修大会として、参加された方々が理学療法固有の臨床技能、社会から求められている今必要な課題別臨床技能、多世代に応じた階層別臨床技能を習得および省察できる内容としました。是非とも、茨城の地で、新たな理学療法士人生を一緒に踏み出しましょう。

## 自立を支援する臨床技能を極める

—豊かな理学療法士人生を送るために—



第53回  
日本理学療法学会学術研修大会  
in茨城2018

大会長  
齊藤 秀之  
(医療法人 筑波記念会)

## 企画内容

### 1 協会主催研修

- 1) 協会長・学術研修大会長講演
- 2) 平成30年診療報酬・介護報酬同時改定講演

### 2 基本的臨床技能研修

- 1) 理学療法スキルの再考  
—関節可動域を守る運動療法回帰—
- 2) 明日からの診療が変わる  
—起立・歩行にこだわる—

### 3 参加型臨床技能研修

- 1) 臨床力を高める  
—患者診療の模擬演習(OSCE)—
- 2) 臨床力を高める  
—実際の患者診療評価(mini-CEX)—
- 3) 指導力を高める  
—臨床実習生指導方法を学ぶ—

### 4 課題別研修

- 1) 上肢から自立を診る  
—全身運動に必要な上肢機能を考える—
- 2) 疼痛に対するセルフ・エクササイズへと繋がる理学療法
- 3) 足から自立を診る —フットケアに取り組む—
- 4) 正しいADL評価とは —FIMの実践—
- 5) 排尿障害に立ち向かう —理学療法の可能性—
- 6) ウィメンズヘルスにおける理学療法



※写真はイメージです。

- 7) 認知症に対する理学療法の実践
- 8) 災害と理学療法 —支援から自立へ—
- 9) 理学療法における疫学・公衆衛生研究を学ぶ
- 10) 国際化に対応する臨床理学療法英会話
- 11) 理学療法士の生涯プランニングを考える
- 12) 理学療法における政策課題と展望

### 5 階層別研修

- 1) 日本理学療法士協会 管理者研修(初級)
- 2) 中堅管理者向けの職場管理研修

### 6 階層別研修

- 1) 日本理学療法士協会認定理学療法士の指定研修会
- 2) 日本理学療法士協会認定理学療法士の認定必須研修会(領域:物理療法)
- 3) 日本理学療法士協会認定理学療法士の認定必須研修会(領域:補装具)
- 4) 認知症サポーター

### 7 事例報告(ケーススタディ)

都道府県理学療法士会および市区町村における新たな総合事業等実践報告会

注) 平成29年9月1日現在の情報であり、今後変更の可能性がります。